

伊勢寺地区住民協議会

各地域の住民協議会の活動をシリーズで紹介しています。



地元の山 観音岳



伊勢寺地区
住民協議会
朽木 正弘 会長

お知らせ

「いせでらさんぽみち」
PVをYouTubeにアップし、
世界デビューします!



地元の唱歌「いせでらさんぽみち」のPVを、元気応援事業で得た交付金でドローンを使って地域の名所旧跡を空撮、バージョンアップしたPVで9月頃、世界デビューです。



青い空、緑の山、実りの田んぼと
ミカンと7地区的団結を表す
住民協議会のシンボルマーク

伊勢寺地区住民協議会は、平成24年3月に設立されました。活動方針としての基本理念は、「地域全体で互いに支えあい助け合いながら、みんながいつでも幸せに暮らせるまち」です。地域環境、教育文化、防犯防災、公民館、健康福祉の5つの部会を軸に、地域の課題解決や活性化に向けて取り組んでいます。

伊勢寺地区には、11142世帯（常住世帯）、3734人が暮らしていて、高齢化率は36・3%となっています。会長を務める朽木正弘さん（64）は「少子高齢化による過疎化を防いで、地域が荒廃しないように、環境を維持して地域を良くしていきたい」と話します。

今年度は、特に『地域の宝歌』『いせでらさんぽみち』を歌い広め後世に『』をテーマに、地区の名所を曲に乗せた歌『いせでらさんぽみち』を地域に普及させようと、伊勢寺小学校5年生の遠足と共催して、歌詞に登場する国分寺、弥勒寺、龜地蔵、貴人塚などを巡るウォーキングを実施しました。

また、地域で防災訓練を行い、5年前からは地区消防団のOBが、伊勢寺地区自主防災隊を結成し、防災に強いまちづくりを目指しています。

松阪市森林公園、松阪農業公園ベルフームなどの市民全体の憩いの場もあり、特産品はミカン・なばな・モロヘイヤなどです。

地域課題は、不法投棄、獣害対策や若者不足があります。山間部だけでなく平野部にも不法投棄があります。また、1年間でイノシシやシカなどを100頭前後、畏により捕獲しています。そして、空き家対策を充実し、若者が積極的に参加できるような環境づくりや活動をしていきたいとのことです。

今年度は、特に『地域の宝歌』『いせでらさんぽみち』を歌い広め後世に『』をテーマに、地区の名所を曲に乗せた歌『いせでらさんぽみち』を地域に普及させようと、伊勢寺小学校5年生の遠足と共催して、歌詞に登場する国分寺、弥勒寺、龜地蔵、貴人塚などを巡るウォーキングを実施しました。

活動紹介



遊びながら森林の働きを学ぶ事業

毎年春と秋の2回、伊勢寺小学校4年生児童を対象に「企業の森」で自然観察会を行い、自然の大切さを学びます。



公民館まつり

公民館文化クラブさんの日頃の練習成果を発表する場で、プロの歌手をゲストに楽しみ、抽選会で盛り上ります。



防災訓練

過去の震災発生時に合わせ、毎年12月の寒い季節に実施し、住民の危機管理意識を高めています。